



管理組合第16期理事長就任挨拶

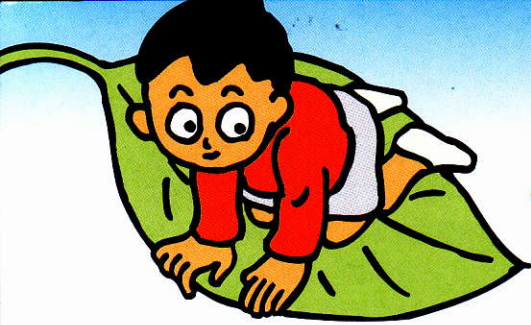
皆さんこんにちは、マリナタウン・リベラガーデン住宅団地管理組合法人の第16期理事長を務めさせて頂く事になりました 櫻木 壽明です。

平成8年に入居が開始されたリベラガーデンも今年で16年目を迎えています。これまでに第1回目の大規模修繕が7棟で行われ、全体共用部分の改修もこの春に完了致しました。

今後とも、「更なる住み続けたい街作り」を

目指して、頼りになる3名の副理事長の有畑様、佐竹様、中村様の力をお借りし、知恵袋の顧問を務めて頂く田川様、田中様の後ろ盾を頂きつつ一生懸命活動してまいりますので宜しくお願い致します。

最後になりましたが、我々の町リベラガーデンを今日まで育てて頂きました歴代の理事長、副理事長並びに各理事の皆様にご心より敬意と感謝を申し上げます。



10棟だより

■A棟

16期A棟棟部会の木下（きした）です。A棟は名前の通り愛宕浜中央公園に面して、朝夕には小鳥のさえずりの聞こえ、環境抜群のリベラでも特別な良好な住環境です。また、バス停も近く、私にとっては、最高の住環境と感じています。

しかし、棟の周りでは、ゴミのポイ捨て、バス停近くのタバコの吸殻の散乱、悲しくなる場面が多々あります。このすばらしい環境、マンションライフを維持、向上するために皆様に、マナー向上等と呼びかけていきたいと思っています。よろしくお願いします。

■B棟

みなさまこんにちは。16期B棟棟部会会長の中村です。

B棟はリベラの中でも一番戸数の少ない棟で、住民の方のまとまりも固いもの（実際は…？）と確信しております。

棟としての取り組みはこれまで秋の不要自転車の整理位で特に独自のものとしてはなく、ガーデンパーティー等、自治会の行事におまかせの形になってしまっております。自治会の皆様たいへんご苦勞様でございます。

私が昨年から住宅理事会のお手伝いをさせていただいて感じる事は、これまでの自分や家族の日々の生活ではリベラ全体の中で自分たちが非常に限られた範囲しか見ていないという事です。「他の棟の方から聞いて初めて知った」とか「10年以上住んでいるけどそんな場所があったのか」等々。これからはもう少し時間を見つけ広い範囲を見る事を心がけてみようと思います。

これまで棟部会、役員会も必要最低限の回数しか行われておりませんが、次回以降開催の際には出来るだけ参加していただく様お願いします。

最後に棟の周りで残念ながらタバコの吸殻が捨てられているのを時々見る事があります。

すべての共用の施設の使い方も含め、ルールを守る事を固くお願いします。

■C棟

C棟棟部会長をさせていただいております610号の有畑です。

C棟としては、1昨年に行った大規模修繕や昨年実施の修繕積立金の増額などの大きな取組が終了し、16期の具体的取り組みとしては、恒例の秋の不用自転車の整理が予定されているのみです。

居住者の皆様には、エレベーター、自動ドア、給排水設備などの共用部分の不具合や共同生活を送る上での問題点やお気づきの点がございましたら、管理センターあるいは有畑まで直接お申し出下さるようお願いいたします。

■D棟

D棟は和気あいあいとした家族的な雰囲気の棟です。

また、51戸と戸数は少ないですが、理事会役員や自治会執行部経験者が多く、リベラガーデンの住人としての意識の高い棟でもあります。その為か、各行事への参加者や協力者も多くなっています。

ただ、最近では子どもの成長と共に、若い世代のD棟離れが進み、高齢者だけの世帯、高齢者の独り暮らし、夫婦だけの世帯が増えています。

今後は、現状を踏まえ、D棟の利点を活かしながら、防犯防災や介護問題においても先駆けとなるような活動をしていきたいと思っています。

■ E棟

第16期E棟部会長の抱負（坂本 富士男）

リベラガーデンに入居して15年になり、今回セントラルイースト棟部会長に任命されましたので、一生懸命頑張るつもりです。

さて、E棟においての一番の問題点は、正規の駐輪場をはみ出して各出入り口近くに多数の自転車が駐輪していてとても危険で、他の棟には見られない状況であり、また、北風の強いときには多数の横転車が発生していてとても危険です。

このため、前期にて理事会に、新規に駐輪場の増設を提案していますがいろいろの制約のためにまだ成立していません。今期も理事会に、この件を再度提案して早期に成立される事を願っています。

E棟において「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」と住人が言える明るい棟になる様に、この二点为目标に頑張ってお勧めさせていただきます。

■ G棟

G棟は、リベラガーデンの敷地内では東側に位置し、マルキョウのすぐ裏にあります。

G棟部会役員は6人とそこまで大人数ではないので、意見も出しやすく活発な雰囲気があり、夏にはG棟東側スロープの滑り止め対策を行い、住環境の安全や快適性に気を配りながら活動しています。

今後も棟部会役員協力の下、G棟及びリベラガーデン全体のために活動を行いたいと思います。

■ I棟

I棟棟部会では、応接スペース、棟前のスペースの適正利用の検討や棟内の生活環境の向上等に取り組んでいます。

また、自家発電設備のメンテナンスに伴う機器の交換工事も検討中です。

残念なことですが、最近、上階からベランダにタバコの吸殻が落ちてきた住戸がありました。吸殻の投げ捨ては火災につながる危険性もあります。

皆様の大切な財産ですので、協力してルールを守って頂きたいです。

■ J棟

J棟棟部会では、1階ロビーのソファの入れ替えや紫外線防止フィルムの使用等のリニューアルや、ロビー内での子ども達の遊び方のお願い、玄関周りの花壇の手入れ方法等、生活環境の向上に取り組んでいます。

また、自家発電設備のメンテナンスに伴う機器の交換工事等の打ち合わせも継続中です。

■ K棟

前任の方から予定の方が棟部会長を引き受けられないのでという依頼を受け、そんな時期かと思っていましたので、お引き受けしました。就任から3か月経過。

K棟は、新築から5年半、10年目途の大規模修繕には、時間があると思っていましたが、鉄部に予想以上の錆が広がっていました。目下、点検や見積もり作業をしています。「波打ち際から60歳!」、K棟、販売時のキャッチフレーズです。

しかし、その環境で素材は鉄で良かったのでしょうか？ K棟で実験をしました。8月末から3回、昔ながらの回覧板。ポストに入れて次の方に回す方式です。15階×3本のエレベーター毎×2戸＝合計90戸。残念ながら、この原稿を書いている9月29日現在、ひとつも戻っていません。原因は、分かりません。全戸配布もしました。

迅速な情報共有の試行錯誤は、手を替え、品を替えて、続けるつもりです。理由は、ひとつ、共有財産を守る為です。

(K棟1406、中村 靖)



住宅小委員会

皆さんこんにちは、今年から新たに発足致しました住宅小委員会の委員長を務める事になりました櫻木です。住宅団地管理組合法人の理事長も兼務しております。

本小委員会のミッションは住空間の最適化を目指した重要な委員会との認識で、皆様のご協力の元に機能していきますので宜しくお願い致します。



リバーガーデン東公園（ふれあい広場）と野球

私は今、車を東公園横の自走式2階駐車場に置いています。

今年、防球ネットが設置されてから、東公園で野球やソフトボールの本格的な練習が始まるようになり、ボールが車を直撃するようになりました。私自身も少年時代は野球チームに所属をして、野球に明け暮れた経験があるのと、我が家にも同世代の子供がいる事もあり、見過ごしていました。

しかし、自分の車の天井やドアにも野球ボールの当たった跡が付くようになり、駐車場内に落ちているボールを拾って管理センターに届けたりしました。しかし事態は進み、ボデーの下部に小石をぶつけたような傷が付くように。不思議に思って休日に公園での野球を見てみると、少年達は駐車場の車の下にボールが入り込むと、小石をボールに当ててボールを出していたのです。もちろん石はボールに当たる時もありますが、車に当たってカチン・カチンと音を立てていました。子供達のアイデアに感心すると共に、車の近くに親指大の石が落ちている謎も解けました。

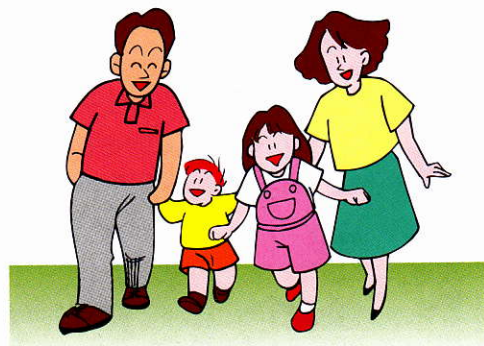
東公園では、先に遊んでいる未就学児や、よちよち歩きのお子さん連れなどを追い出すように、すぐ側で野球を始める小学生たち。2メートル先で女の子が遊んでいるのに、硬いボールを金属バットで打つ野球少年。ユニフォーム姿の中学野球部員集団や、熱心に打撃指導している父親も。

その内容はバッティング練習やノック（金属・木製バット使用）・内野の連携・投球練習など野球グラウンドそのものです。打球は鋭く、誰かに当たれば怪我が心配です。バットを振っている本人はボールに集中する為、すぐ後ろに人が来ても気付かず、またボールを追いかけている方も夢中になっていて、振ったバットが頭を直撃する危険もあります。

通常の練習ではバッターの後ろ2方向には人が近づかないようネットを立てますが、東公園にはこうした安全ネットはありません。野球部員に聞くと、姪浜中学校のグラウンドは「指導者がいないと、危ない」ので空いていても使用禁止だそうです。

東公園に硬いボールや金属バット使用に注意を促す掲示が出てから、金属バットの野球少年やお父さんに声を掛けましたが、我々がいなくなると即、再開されます。優しく注意している管理事務所の方にも反抗して悪態をつくお子さんもいます。

怪我をさせたり車の破損・弁償などで、住民同士のトラブルが発生してからではなく、かつての自分がそうだったベビーカーの赤ちゃん連れや、自身の親と同



じ年配の方にも危険のない敷地内の通行や生活を目指したいものです。

一方で野球少年には、代替案も必要です。そこでリバーラに隣接の中央公園のグラウンドを是非、お勧めします。夜7時まで利用でき、生徒は何人で使っても一般の半額（750円）です。ウェストコート浜のバッティングセンター（24時まで営業、元プロ選手の教室や、少年野球は割引特典あり）も、自転車で、すぐです。

少年野球に入ったり、中学生になったら、私は小さい頃から遊んだ家の周りの公園は、ごく自然に卒業して、練習帰りにバッティングセンターに立ち寄ったり、もの足りなかったら部の仲間と、区役所に電話でグラウンドを予約し、休日に練習をしていました。自分がやりたい時に、いつでもやれるとは限りません。それも社会勉強でした。

区で担当のおじさんは親切にしてくれ、記憶ではいつも4～5人で、1人当たり200～300円で、子供の小遣いでも十分払えました。

野球部員のみなさんも、狭い広場でやらず、代替案で仲間と一緒に思い切り練習出来る楽しさに気づいて頂ければ幸いです。

(K棟 難波)



黄色いビニール袋

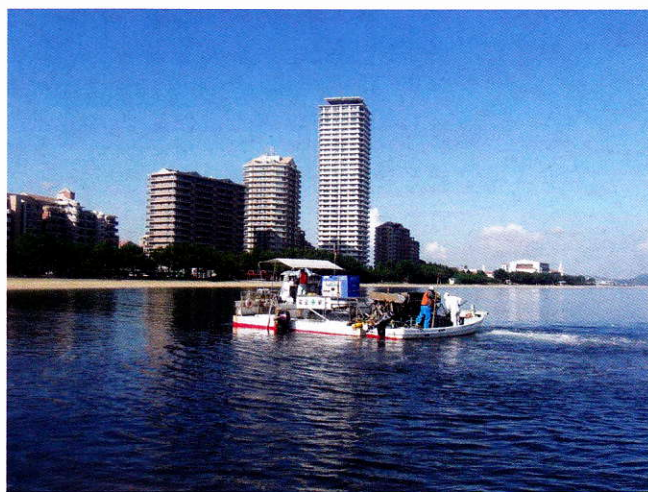
愛宕浜の人工海浜で波打ち際を腰に黄色いビニール袋をいくつも提げた10人ほどの女性が丹念に水際のゴミを拾っているのを見かけた事はありませんか？ マリゾン・博多湾環境整備共同事業体で働く女性のみなさんです。

北部九州は、今年、台風12号、15号の直撃は免れましたが、リバーラガーデンも長時間、強風に晒されました。こうした荒天の後、人工海浜の波打ち際は、決まって夥しい漂着物で埋め尽くされます。プラスチックや発泡スチロール、ビン缶類、それに流木まで。

まず、博多湾環境整備の小さなブルドーザーが出動して大きな漂着物を回収すると共に岸辺の砂を整えます。次に番が来るのが女性のみなさんです。勤務時間は知りませんが、土日祝日を問わず、強風が治まると直ちに出勤です。百道浜の人工海浜と合わせて守備範囲の海岸線は2.5キロにもなります。夏の炎天下、徒歩による清掃は、重労働です。

人工海浜でもう一人の働き者が「かんきょう8号」(写真)という特殊船。海中に発生するアオサを回収し、人工海浜の環境を守ります。

夏が過ぎて水色のテントも姿を消しました。初夏、潮流で人口海浜の東西に流され



た砂を元に戻す大きな重機を見かけた方も多いと思います。養浜整形と言うそうです。

波音を聞きながら潮風に吹かれて散歩やジョギングなどをする時、こうした影のご労苦に感謝です。



AED（自動体外式除細動器）

2010年に福岡市で救急車が出動した回数は、6万2,404回と前年より7.1%増えています。交通事故や怪我などを除く、急病は3万8,210回で、こちらは9.2%も増えました。

この結果、救急車の到着時間は、平均6分20秒と前年比+4秒でした。

救急車が到着するまでの、応急処置で救命に力になるのが、AED（自動体外式除細動器）です。

AEDは、心停止の傷病者を救います。突然死は心室細動（心臓の筋肉が痙攣を起し、ポンプ機能を失った状態）が、関与しています。AEDは、電気ショックで心室細動を除去（除細動）する医療機器です。

ご案内が遅くなりましたが、今年4月、AEDが管理センターに配備されました。1年365日24時間、利用可能です。

使い方は、管理センターの職員が知っていますし、初めて使う方でも、AEDが自動的に音声メッセージと点滅するランプで、指示を出してくれます。電極パッドを胸の右上と左わき腹に貼りつけます。これで、AEDは自動的に心電図を解析します。電気ショックが必要と判断されたら、指示に従って点滅ボタンを押します。同時に胸骨圧迫と人工呼吸も行います。

リバーラガーデンでも、近いうちに防災訓練などの際、AEDの使い方について講習会もしたいと思います。906世帯、約3,000人が暮らすリバーラガーデン、イザという時に安心な道具です。



フラダンスの舞台として

ALOHA、9月4日（日）夕方、愛宕浜の人工海浜でフラダンスを決行しました。

台風の影響が残る暴風の中でしたが、参加したメンバー全員が笑顔で、とても楽しいひとときを過ごさせて頂きました。

私たちは、ミルキーこと中嶋先生のご指導のもと、毎月第1、3日曜日に天神の教室でフラダンスを習い、早3年のハッピーフラのメンバー。メンバーは、ほぼ独身です。



潮風を感じ、波の音を聞きながらサンセットビーチで日頃の成果を皆で表現してみたいと、メンバーの一人が愛宕浜に住んでいる事もあり、舞台をお借りしました。

機会があれば、またビーチでお会いしましょう。



リベラガーデンで映画ロケ

2011年8月13日と14日、E棟ゲストルームやビューラウンジなどを使って、映画「私の叔父さん」のロケが敢行された。

原作は連城三紀彦の同名の小説で1984年の直木賞受賞作品。原作は山口県下関市が舞台だが、神奈川県出身の細野辰興監督が福岡フィルムコミッションなどの協力体制やリベラガーデンの景観にほれ込み、舞台を変えた。監督以下スタッフ43人と車両8台が旧盆のリベラに集結。



主演は「竜二Forever」などで知られる高橋克典。相手役の女優は、福岡で公募した新人・松本望。寺島咲や鶴見辰吾、松原智恵子が脇を固める。ストーリーは、45歳のカメラマンが今は亡き姪の忘れ形見で18歳の娘との会話をきっかけに姪の生前、18年前に思いを馳せる。

細野監督は、ツイッターで、「映画化されずに来た名企画、それを映画化する喜びと怖さが入り混じった感じが映画監督の醍醐味」と、つぶやく。

映画は、来春公開予定。



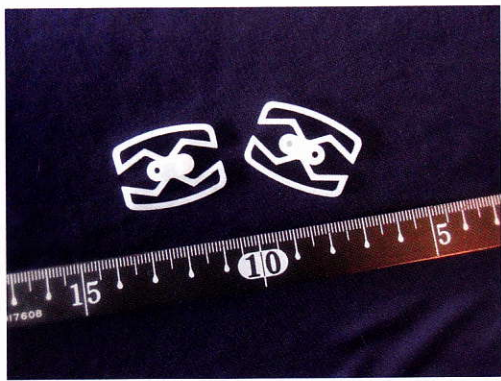


ドアと引き戸のガタつき

初めてマンションを購入・入居して5年半、経過しました。

玄関ドアや、室内ドアを開閉した時に、別の場所の引き戸がガタつくのが気になります。

これは、マンションの気密化が進み、ドアを開閉した際に、部屋に負圧が発生し、引き戸と鴨居にある溝との僅かな隙間で引き戸が動く為に発生する音です。



この音を解消するのが、ご紹介する小道具で商品名「つっぱり源さん」です。

引き戸を外し、上部に付属の釘で打つだけ。ポリアセタール樹脂製で、特殊なバネを仕込んでいます。引き戸と溝との間に、つっぱりガタつき=隙間を無くす為、引き戸の開閉は重くなりますが、ガタつきは、完全に消えました。

引き戸2枚分、計4個、サイズは22.5[㍍]×30[㍍]×3[㍍]です。鴨居溝は21[㍍]用で、引き戸のサイズ確認が必要です。

通販のみで、@620円、A&Kホーム建材(株)。



編集後記

「リベラタイムス」および「リベラフォーラム」を統合し、タイトルを「リベ・コミ」と改め、デザインも一新いたしました。

「リベ・コミ」とはリベラコミュニケーションを短縮したもので、管理組合の活動を居住者の皆様にお伝えする情報誌です。

***** 住み続けたい街づくりのための管理組合情報誌 *****

発行：リベラガーデン住宅団地管理組合法人

編集：広報専門部会

印刷：日本NCRビジネスソリューション(株)福岡
